

梅之木通信

【縄文住居をつくる会】

第5号 2019.7.29 発行

苦勞の甲斐あって やっと石斧も完成です

今年は雨の日が多く、なかなかお日様が顔を見せる日がありませんでしたが、やっと梅雨も終わる兆しが見えてきました。昨年のような猛暑日が続くのもご遠慮願いたいと思いますが、日照不足で皆さんの畑でも作物に影響が出ているのではないのでしょうか。

雨で作業が中止となる日もありましたが、伐採作業は熊造園さんと一緒に順次進められ、直径15cm程度の樹木であれば1時間足らずで切り倒すことが出来るよう手慣れてきました。また、石斧造りはそれぞれが持ち帰って作業ができるため、すでに何本かのMy石斧が出来上がり、実際に使ってみての伐採も始まりました。最初は折角苦勞して作った石斧が割れてしまわないか、柄が壊れてしまわないかと戦々恐々でしたが、意外や意外、結構な切れ味でほっとするとともに、喜びもひとしおです。

我々の作業ペースが縄文時代の暮らしに沿ったものになっているかどうか判りませんが、できるだけ文明の利器や動力に頼ることなく、ヒューマンパワーを活用して作業を進めようとする姿勢は、便利な機器が発達した現代の生活の再確認になったように思います。

★ 材木が集まりつつあります

縄文住居建設予定地のわきに、太さや長さで分類した材木が集まりはじめてきました。

太いものは、柱・梁・桁に、

中くらいのものは、垂木・棟木・出入り口に、

細いものは、少舞として垂木に繋いで屋根ふきの下敷きに使用します。

一般住宅建材のような真っ直ぐな木材は一本もないので、具体的にどの木がどこに使えるのか？

長さは足りるのか？ どれくらいの本数があれば大丈夫なのか？ ？ ？

骨組みを組み立てる段階になって

もう少し長さがあれば、、、

もう少しこちらに曲がってれば、、、

と頭を悩ますことになると思いますが

まだしばらくは伐採しては材木を集めるという作業も続きそうです。

石斧での伐採をまだ未体験の方はまだ間に合いますので、ぜひご参加ください。また、夏休みに遊びにいらしたお孫さんなどを連れて縄文人や縄文生活を見学に来られるのも楽しいかと思ひます。



★ 伐採樹木へのお祓い



昔の日本人はその精霊に「今までありがとう」「木を切り倒してごめんなさい」という感謝・謝罪の気持ちを込めてお祓いをしていたそうです。伐採する樹木に対して、お酒で清め、お米・塩を供え感謝と謝罪のご挨拶をしてから私達も伐採しています。小さな心遣いですが、自然に対する感謝と配慮を忘れると、いつの日か大きな災いとなって戻ってくるかもしれません。大規模森林伐採が自然破壊に繋がらないはずがないと思いますが、どうでしょう？



斧にも、お神酒を吹きかけ、安全祈願？



感謝をこめて
よろしく
お願いします！！

★ 石斧も実用可能なことが実証されました



石刃の大きさや柄の形によって、それぞれ出来上がってきた石斧にも個性が現れます。石刃の小さなものは切れ味鋭く、石刃の大きなものは重くて使いにくいかと思いきや、かえって重量感があって、ドースンと一撃一撃、幹に打ち込む快感を味わう事ができます。また、バット型にしたものは握り易いので扱いやすく感じられます。また、作成中の方もいるかと思いますが、出来上がりを楽しみにMy石斧の完成を目指してください。

【お知らせ】 ◆8月作業について

そろそろ土掘りの許可がでるようで、堅穴掘削の作業が始まりますが、炎天下での作業になります。十分に水分・休憩をとり個々の体調と相談しながら無理せずに作業を進めるようにしてください。

- ◆ふるさと倶楽部まつりに1パネル+1テーブル分のスペースを確保する予定です。同好会発表の場として、展示アイデアや感想などあれば世話人までお願いします。